

I. 研究分野

公理的意思決定理論、ミクロ経済学

II. 研究分野（英語表記）

Axiomatic Decision Theory, and Microeconomics

III. 修士課程学生の履修要件

「上級ミクロ経済学」を B 以上で合格しているか、それと同等の能力があると認められること。さらに、専門論文を読みこなすのに十分な微積分、線形代数、確率・統計の知識を有すること。担当者が開講する上級理論経済学（意思決定理論）を履修済みであることが望ましい。

IV. 選考期間および方法

十分な予備知識を有すると担当者が認める場合を除いて、原則として修士 2 年生から演習の履修を許可する。

履修登録期間前のなるべく早い時期にメールで連絡すること。

面談で研究計画について確認する。

V. 指導方針

意思決定モデルの公理的分析と、そのミクロ経済学やゲーム理論への応用に興味のある学生を指導する。学生の論文発表によりゼミを進める。

VI. 博士後期課程学生の履修要件

一橋内部進学生：

上級ミクロ経済学、上級マクロ経済学、上級計量経済学のすべての科目について B 以上で合格し、かつ、研究課題が私自身指導可能な場合。また、担当者が開講する上級理論経済学（意思決定理論）を履修済みであること。

一橋大学以外の学生：

大学院レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学を履修し、優秀な成績を修めていること。

VII. 共同開講者に関するメモ

経済学研究科の無籐ゼミと合同で実施する。

VIII. 詳細リンク先 URL

4 月以降に案内する。